

明けましておめでとうございます。



ふれあいいかた

生涯学習だより

“ひとづくりが まちづくりの基本”

ふるさとを愛し、
豊かな心を育てるまちを目指して、
地域・家庭・学校が一体となって
頑張りましょう。

1 月号

平成26年1月1日発行 No.105

■発行 伊方町教育委員会
■編集 教育委員会事務局 生涯学習室



伊方町教育委員会 教育長
河野達司

新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃より本町の教育振興に多大なるご支援とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

伊方町の教育におきましては、「ふるさとを愛し、豊かな心を育てるまちを目指して」の教育目標のもと、すべての子どもたちが生きる力や確かな学力を育み、自らの居場所と夢を持ちながら元気に世界にはばたけることを、また、すべての町民が健康で主体的に学習し、人生に誇りと希望を持って心豊かに生きることが願って取り組んでまいりました。

学校教育では、特色ある学校づくりを推進していく中で自ら学び自ら考える力を身に付け、生きる力の育成と確かな学力の定着を図るとともに、特にいじめ・不登校問題への対応など生徒指導の徹底と健全育成に努めてきました。

また、学校再編計画に基づき、保護者、地域住民の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、よりよい教育環境の整備に向けて努めているところでございます。

社会教育では、生涯学習の視点に立ち、少子高齢化・情報化の進展等に対応できる人間性豊かな町民の育成をめざし「郷土に誇りを持ち、笑顔あふれる人が集つ町」を合言葉に活動を展開しています。

町民一人ひとりが自発的に学習に取り組む意欲を高め、いつでもどこでも「だれでも自分に合った方法で学び続けることができるよう、地域に開かれた公民館活動や人権尊重の町づくりなど、積極的に推進しています。

社会体育では、生涯にわたって活力ある生活が送れるよう、各種スポーツ大会の開催、共催、後援、助成を行うとともに、町民の皆様の健康保持・増進に努めました。

今年度は特に第2回町民運

動会の開催にあたり、たくさんの方のご参加・ご協力をいただき感謝いたしております。これからもスポーツ推進委員や関連団体と連携を深めながら、スポーツの普及・振興を図り、各種大会への参加等についても支援をしてまいりますので、積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。

文化教育では、優れた文化に接する機会を提供することにも、文化活動の支援や文化の振興・交流促進を図るほか、文化財の保存・活用に努め、個性豊かな地域文化の創造に取り組んでいます。

長い歴史の中で育まれ、守り伝えられてきた文化や歴史的遺産を保持伝承していくことは、歴史や文化を正しく理解するために欠くことのできない貴重な歴史的財産であり、地域文化の向上発展の基礎をなすものであります。

特に今年度は、佐田岬半島特有の伝統文化を守り育て地域の活性化につながる、地域博

物館構想」を積極的に推進しています。今後とも文化財の保護等には引き続き力を注いでいきますので、ご協力をお願いいたします。

皆様におかれましては、今後とも教育行政に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

謹んで

新年のお慶びを
申し上げます

教育委員長

森 清

教育委員

山口千穂

教育委員

土居由美

教育委員

木嶋英幸

「みんなで創ろう人権文化、みんなで築こう人権社会」

人権フェスタ2013 “いかた” 開催

12月8日(日)、伊方町民会館で人権フェスタ2013 “いかた” を開催しました。

人権作文発表では、瀬戸中学校2年上田あずなさんの「思いやりの心で」と、伊方中学校3年橋本亜美さんの「命の重さは皆同じ」が発表されました。
※作品は次号で掲載の予定です。

次に、伊方中学校生徒のみなさんにより、命の尊さを題材とした人権啓発劇「奇跡のかげら」が演じられ、「奇跡」によって生まれた命の尊さを感じながら、いじめや差別のない世の中を作っていくことを誓って歌います。是非、劇に込められている私たちのメッセージを受け取ってください」と熱のこもった劇が演じられました。



伊方中学校生徒による人権劇

講演では、家田荘子先生(作家・高野山真言宗僧侶)をお迎えして、「一緒に生きて行きましょう生きるということ」と題し、いじめや薬物依存の話など、自身の体験や、取材の中で得た現



家田荘子先生の講演

状をお話いただきました。
中学生の発表や講演を通じて、人権について改めて考える良い機会になったことと思います。



第9回伊方町PTA研究大会開催

伊方町PTA連合会

11月30日(土)、瀬戸町民センター

において、「子どもたちの生きる力を育む」を研究主題に第9回伊方町PTA研究大会が開催されました。

開会行事の後、「僕は運命を信じない」と題して坂本博之先生(元プロボクサー)の講演が行われました。

講演では、家庭の事情で乳児院・児童養護施設に入退所を繰り返したこと、周りの人たちに支えられ日本ライト級王座に登りつめたこと、また、病気を克服しボクシングに再挑戦したことなど、ファイターらしく

熱く語られました。

ボクサーという日頃の生活では馴染みの少ない存在ということもあり、聞くことすべてが新鮮で、これから子育てや保護者等自身の生活に大変参考になったのではないのでしょうか。



坂本博之先生

熱戦！ 西宇和郡小学校サッカー大会

【Aゾーン優勝】

伊方小学校

決勝

三机	2-3	伊方
三机	2-1	九町
4		0
1		4
三崎	2-5	伊方

【Bゾーン優勝】

佐田岬小学校

決勝

大久	0-2	佐田岬
水ヶ浦	1-0	二見
1		0
3		4
大久	0-1	佐田岬

11月27日(水)、三崎小学校グラウンドにおいて「西宇和郡小学校サッカー大会」が開催されました。
今年は、Aゾーン、Bゾーンに分かれて試合が行われ、みなさん練習の成果を発揮し、白熱した試合が繰り広げられました。
結果は次のとおりです。

「男の料理教室」を開催！

町見公民館

12月13日(金)、町見公民館において、第3回「男の料理教室」が開催されました。講師に鳥津の道元平先生をお迎えし、町見地区にお住まいの男性15名で実施したものです。

今回は、男のあったか鍋料理ということで「ちゃんこ鍋」と「チゲ鍋」に挑戦しました。献立表を見ながらそれぞれの班で、役割分担を決め、手際よく作業をこなしていました。最初はレシピの分量を間違えないように慎重に量っていたものの、最後は自分の舌を頼りに…約1時間で全て作り終わりました。調理後は、自分たちで作ったおいしい料理を囲み、和やかな雰囲気の中、親睦を深めることができました。

かつて台所は女の城、料理は女の仕事であるといわれていました。しかし、家族の形が多様化し、共働きも普通になった現代では、「男子厨房に入らず」、「料理など作るのは男の沽券に関わる」という意識自体が変化しています。そして、ふとしたキッカケで台所に立つてみた男性は、料理って実は楽しいじゃないか」とい



次回は2月に第4回目の男の料理教室を開催する予定です。興味のある方は是非参加してください。

新春行事のご案内

三崎公民館

本年も公民館事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。来年も新春早々、盛りだくさんの催しを準備しております。是非ご参加いただいて1年の計をたてられてみては、いかがでしょうか？

第35回 健康マラソン&ウォーキング大会

- 日時 平成26年1月3日(金) 後援 伊方町体育協会三崎支部
- 場所 三崎公民館(スタート・ゴール)
- 受付 午前9時～
- コース 【マラソンの部】
 - ・1.5kmコース 高浦(みつけ浜付近)折返し
 - ・3.0kmコース 高浦(堀田建設付近)折返し
 - ・5.0kmコース 佐田(神社付近)折返し
 - ・10.0kmコース 阿弥陀池を1周して折返し
- 【ウォーキングの部】
 - ・5.0kmコース 佐田(神社付近)折返し

第46回 三崎駅伝大会

- 日時 平成26年1月19日(日)
- スタート午前9時30分～
- コース 佐田岬小学校～三崎～井野浦～三崎公民館前
- 参加種別
 - ・中学校男子の部・中学校女子の部
 - ・高校男子の部・一般の部
 - ・一般女子の部・小学生の部

ドライバーの皆様
健康マラソン&ウォーキング大会及び三崎駅伝大会時には選手への安全配慮を、よろしくお願いします。

新春書初め大会

- 日時 平成26年1月7日(火) 午前9時30分～
- 場所 三崎総合支所 2階多目的会議室
- 講師 五島義長先生
- 参加者持参物
 - 習字道具(筆、下敷きなど)
 - 半紙・墨は不要



第2回 平成大学

中央公民館

11月20日(水)、伊方町生涯学習センター5階多目的ホールにおいて、伊方地区の老人会員さんを対象に第2回平成大学が開催されました。

今回は、伊方スポーツセンターの健康運動実践指導士である渡辺勅数先生を講師に迎え、「ウォーキングで生活習慣病とロコモティブシンドロームの予防」と題して、講話及び軽運動を実施していただきました。

ロコモティブシンドロームとは、運動器が弱くなり要介護になったり、要介護になる危険度の高い状態のことを言います。メタボリックシンドロームと同様に健康寿命や介護予防を阻害する大きな要因となっています。1日10分のウォーキングをすることによりこのロコモティブシンドロームや生活習慣病の予防に効果があるということで、受講生のみなさんはウォーキングする際の正しい歩き方や、姿勢について真剣に耳を傾けていました。普段何気なく歩いている時と、意識して正しい姿勢で歩く時の違いにみなさん驚いていたようです。

10数年前に比べて日本人の1日当たりの平均歩数は約1,000歩少なくなっているそうです。これからの季節は外にでるのが億劫になりがちですが、日ごろの運動不足解消のためにも少しのウォーキングから始めてみてはいかがでしょうか。



第43回 伊方駅伝大会開催

【と き】 2月9日(日) 小雨決行

- ・開会式 9時00分(二見小学校体育館)
- ・スタート 9時30分(田之浦集会所横)
- ・ゴール 10時35分頃(伊方中学校グラウンド)

【構成】 1部 地域単位の年齢別構成チーム
2部 小学校5年生以上の愛好者チーム

【区 間】 田之浦集会所横～大浜臨港道口折り返し
～ 伊方中学校グラウンド18.94km

※選手への盛大な応援をお願いします。



【問い合わせ】 教育委員会事務局 生涯学習室
電話38-2661

ふるさとウォーク2013開催

11月17日(日)、伊方町体育協会伊方支部主催、伊方町・伊方町教育委員会・伊方町健康づくり推進協議会・共催により、ふるさとウォーク2013が伊方地域で開催されました。

このウォークは、地域の自然の中で、歴史、文化にふれあいながら歩き、あわせて日頃の運動不足の解消、健康増進を図ることを目的に毎年コースを変更して開催されています。

今年は、九町小～九町女子線～旧豊之浦小～旧国道を経由して九

町小学校へ帰る、約7.5kmのコースで実施されました。途中から雨が降りはじめ中止となりました。



平成26年度 学童クラブ参加児童募集のお知らせ

- 【目 的】 放課後、帰宅しても保護者が家庭にいない児童を対象に、平日は下校の時間から午後6時まで、長期休業(夏・冬・春休み)については午前8時30分から午後6時まで学童クラブを開設し、仲間作りを通して児童の健全育成を図ります。
- 【実施期間】 平成26年4月1日(火)から平成27年3月31日(火)まで
(ただし、土・日曜日、休館日(祝日・年末年始等)を除く)
- 【実施場所】 いかた学童クラブ 伊方町生涯学習センター3階
くちょう学童クラブ 九町小学校横教職員住宅1階
みつくえ学童クラブ 三机小学校裏教職員住宅1階
おおく学童クラブ 大久小学校1階
みさき学童クラブ 三崎小学校横
- 【対 象 者】 町内の小学校に在住する1年生から3年生のうち、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童(但し、4年生以上であっても特別支援の配慮を要し、町長が認めた児童については対象とする。)
- 【定 員】 いかた学童クラブ 30名程度(応募者多数の場合は、別途選考)
くちょう、みつくえ、おおく、みさき学童クラブ 15名程度(応募者多数の場合は、別途選考)
- 【申込場所】 いかた学童クラブ 38-0211(内線855)、くちょう学童クラブ 39-0215
みつくえ学童クラブ 52-0237、おおく学童クラブ 53-0680
みさき学童クラブ 21-1466
又は、役場本庁3階教育委員会事務局生涯学習室 38-2661
- 【申込期限】 平成26年1月31日(金)
- 【負 担 金】 1ヶ月 2,000円(おやつ代)
- 【留意事項】 ① 児童の送迎は、各家庭で責任を持って行うこと。
② 申込者は、傷害保険に加入すること。
(ケガ、事故等については、保険の範囲内での対応となりますのでご承知下さい。)

体育功労表彰該当者は申請を！

(1月31日(金)まで)

2月開催予定の伊方町生涯学習推進大会で体育功労者表彰を行います。次の表彰基準に該当される方は、教育委員会に備え付けの申請書に関係資料を添付し、1月31日(金)までに提出をお願いします。詳細についてはお問い合わせください。

【表彰基準】

(1) 個人

○個人競技で国、県、公益財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝者

○個人又は団体競技の選手として県予選を経た四国大会以上の出場者

(2) 団体

○団体競技で国、県、公益財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝チーム

○県予選又は推薦を経た四国大会以上の出場チーム

(3) 個人、団体を問わず国際大会出場者

【対象期間】

平成25年1月1日～平成25年12月31日の間に開催された大会

【申請書備付箇所】

生涯学習室、瀬戸公民館、三崎公民館

【問い合わせ先】

伊方町教育委員会事務局 生涯学習室
電話 38-2661(直通)

伊方町小中学校

入学経費助成事業のお知らせ

【目的】

町内の小中学校に入学する児童・生徒の保護者に対して、通学用品購入経費の一部を助成することにより、保護者の負担軽減を図ります。

【助成対象者】

町内に住所を有し、町内小中学校に入学予定の児童・生徒を養育している保護者。

【助成方法】

助成方式は、伊方町内の指定店で現物支給になります。助成額は、小学校1万円、中学校3万円を限度とします。(1回限り)

【その他】

助成対象通学用品・町内の指定店及び申請等の期限については、保護者への事前案内でお知らせしています。

【お問い合わせ先】

伊方町教育委員会事務局 学校教育室
電話 38-2660(直通)



学校通信



ファイト！ 水小！

水ヶ浦小学校

伊方町では、毎年、バスケットボール大会(6月)、陸上競技大会(10月)、サッカー大会(11月)が開催されます。優勝や県記録会出場、自己記録更新を目指して、シーズンが始まると、高学年を中心に一生懸命に練習に取り組みます。

水ヶ浦小学校は、全校児童28名の小規模校です。5、6年生合わせて13名いるのですが、その人数では思うような練習ができません。それで、



今年は3年生以上で取り組んできました。でも、大会でよい成績を上げたいと願っているのは、3年生以上の児童だけではありません。写真をご覧ください。今年度は、2年生が中心となり、壮行会を行いました。「ただ今より、西宇和郡小学校・・・」

や「選手壮行会」など難しい言葉を覚え、また、応援での声出し、振り付け練習を行うなど、一生懸命に頑張りました。まさしく、学校一丸となつて、大会に参加しました。サッカー大会の速報では、「第1試合は、1対0で水ヶ浦小が勝ちました。」と伝えるところ、嬉しそうな顔をして、「おーっ。」という声が上がりました。

町音楽発表会の前日に壮行会として、3、6年生の演奏を、1、2年生が聴きました。演奏後、「迫力がありました。」「上手でした。」という声が聞かれました。

水ヶ浦小学校は、小規模校の良さを生かし

ながら、全校児童が心を一つにしていろいろなことに取り組みでいます。ファイト！

水小！



心に響いた人権コンサート

三机小学校

11月6日、人権教育の授業参観後、西条市立田渚小学校より谷口晃校長先生を講師としてお迎えして、「人権コンサート」を行いました。谷口校長先生から家族との関わりの中で感じられた辛い経験を語っていただき、さらにその思いをギターの音色や歌にのせて私たちに伝えていただきました。その思いは、参加した児童、教職員、保護者全員に伝わり、子どもたちの中にも涙を流している子がいました。お話を聴いて、人の心を傷つけるような行為はしてはならない「自分の命を大切にしてください」と強く感じたことだろうと思います。

近年、生命の大切さや他人を思いやる心、規範意識や公共心の低下が指摘されています。このような中、子どもたちの豊かな人間性や社会性などをはぐくむために、心に響く道徳教育の充実がますます重要になってきています。人権参観日を終えて、保護者からも感動を伝える多数の感想が集まり、正に参加者全員の心の奥底まで響く人権参観日となりました。





図書館だより



1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	(11)
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	(25)
26	27	28	29	30	31	

○…おはなし会 ■…休館日

利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）

祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

■瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894) 38-0607

新着図書

《一般書》



『世界でいちばん美しい』

藤谷 治／著

音楽に人生のすべてを懸ける若き天才音楽家・せった君が恋をした。そんなある日、せった君の彼女が以前付き合っていた男が目の前に現れ…。デビューから十年近く構想を練り続けた、著者最大の自信作。

『武士の献立』

大石 直紀／著

『三陸の海』

津村 節子／著

『私のなかの彼女』

角田 光代／著

『ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石』

伊集院 静／著

『疾風 Rond』

東野 圭吾／著

『ねじれた文字、ねじれた路』

トム・フランクリン／著

『かにみそ』

倉狩 聡／著

『虹の見た日』

澤田 ふじ子／著

『潔く柔く』

いくえみ 綾／原作

『世の中それほど不公平じゃない』 浅田 次郎／著

『女子漂流』 中村うさぎ、三浦 しをん／著

『くすぶる力』 齋藤 孝／著

『心との戦い方』 ヒクソン・グレイシー／著

ほか

《児童書》



『こやぶ医院は、なんでも科』

柏葉 幸子／作

仮病をつかって、病院に連れてこられたさやは、病院の待合室で、さやと同じように仮病をつかった、きつねのこなたにであいます。ふたりは、こわそうなこやぶ先生に怒られ、手伝いをさせられることに…。

『おふろのくまちゃん』 シャーリー・パレント／ぶん

デイヴィッド・ウォーカー／え

『はーくしゅい』

せな けいこ／作・絵

『がんばれ!ルルロロ あわあわおぼけ』

あいはら ひろゆき／文

『十二支のおやこえほん』

高畠 純／作

『うまちゃんかけっこならまけないもん!』

きむら ゆういち／作、ふくざわ ゆみこ／絵

『こうさぎと4ほんのマフラー』 わたり むつこ／さく

でくね いく／え

『ドキドキめいろのくに』

深見 春夫／作

『UF0のつくりかた』

中垣 ゆたか／作

『謎の国からのSOS』

エミリー ロッダ／著

ほか

新しく購入した本は図書館ホームページからご覧いただけます。 URL <http://library.town.ikata.ehime.jp>

新着DVD

『テルマエ・ロマエ』

『ホームアローン4』

『アルゴ』

『のぼうの城』

『レ・ミゼラブル』 ほか



AVコーナー

CDとDVDは館内でも視聴ができます。申込書に記入の上、視聴したい資料のケースをカウンターへお持ち下さい。

ピップスおはなし会のご案内

～1月のおはなし会～

日 時：11日(土)・25日(土)

午後1時30分～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対象者：小学生以下の子どもとその保護者

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

佐田岬半島の自然 スライド上映会

1月22日(水) 19時～

今月のテーマ

「干支の「馬」にまつわる話」

入場無料・お気軽にお越しください

◆ 今月のきょうどかん ◆

2014年1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○=夜スライド上映 □=休館日

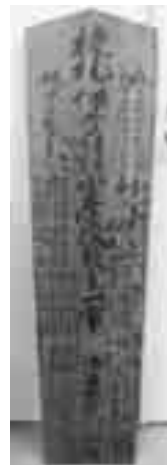
TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習室
■ 開館時間 9:30～16:30
■ 休館 月曜日ほか

最近の郷土館

現在、町見郷土館では、町内のお寺や神社、古い民家などに残る棟札の調査を進めています。

棟札は建物が建てられた時の年号や、施主や大工さんのお名前、祈願文などが記されていて、建物の由緒だけでなく、その時代の地域の代表者や、大工さん左官さんなどの職人たちの活動範囲なども知ることが出来るため、地域の知られざる歴史が浮かび上がってきます。

今年度末には報告書で刊行予定！ただいま大急ぎで頑張っています。ご期待ください♪



町見郷土館から

つわぶき談義

伊方町の町の花つわぶきー今まさに花盛りですね。キク科の多年草で、その名前の由来は「艶のある路」で「艶路」が訛ってツワブキ。まさにあの光沢のある独特の葉を言い表しています。漢字では「石路」とも書くようです。また漢方の世界では「素石」なんて難しい呼び方もします。

つわぶきは、合併前は昭和50年3月に旧伊方町の花に制定され、昭和59年3月には、旧瀬戸町の花のひとつに制定されましたが、現在の伊方町が発足した平成17年11月にあらためて現在の伊方町の花に制定されました。

つわぶきは昔から佐田岬ではよく見られる花だったようで、寛政8年(一七九六)に三机湊を訪れた江戸の儒学者広瀬蒙斎は「三机の山には素石が多い」と感想を記しており、「(意訳)つわぶきはフキが変化したものか」と思っていたが、つわぶきは冬に花が咲き、フキは春に花が咲くと述べています。

また、安政5年(一八五八)に薩摩藩士土原明章が宇和島藩内をくまなく歩いて植物や鉱物についてまとめた『宇藩土産考』には「閩国(＝全国)素石の食用第一と称するものは沖之島、第二に久島と云、又三崎浦辺の産も宜し」とあって、三崎浦(今の三崎地域あたり)が、食用のつわぶきの代表的な産地として紹介されています。

冬の寂しげな山にひときわ華やかに



岩場のツワブキ

な黄色い花と可愛い丸い艶葉、また味噌漬けや粕漬けや煮物やらの美味しい味覚もあり、見てよし食べてよしのつわぶきは、古来より知られた間違いなく佐田岬半島を代表する名物のひとつといえそうです。

参考文献『瀬戸町誌』ほか／協力・九町樹田佳明様

佐田岬民俗ノート

104



第65回全国人権・同和教育研究大会に参加して

総務課人権対策室 朝見 幸司

11月23日・24日に徳島県徳島市で、アスティとくしまをメイン会場に「第65回全国人権・同和教育研究大会」が開催されました。

オープニングイベントでは、四国大学音楽科ポピュラー音楽コースの20名の学生たちが人権をテーマとしたバンド演奏やゴスペル・クワイヤを披露しました。学生とは思えない堂々としたパフォーマンスに会場は圧倒されました。

また、ステージ上では女性三人が唄を唄いながら人形を繰る「三番叟まわし」を披露し、巨大スクリーンに映し出されました。「三番叟まわし」は徳島県の正月を彩った祝福芸で、ユネスコ・アジア文化センターから優良な無形文化遺産事例に贈られるACCU賞を受賞した門付けです。全体会では「三番叟まわし」が被差別部落の中で興り、伝承された技術・文化であることから、子や孫に差別が及ぶことを恐れて継承者自身の手で歴史から消え去られそうになったことが語られました。そして地元の若者たちが差別によって消えかけた文化について、「へやしい、もったいない」との思いから立ち上げた「阿波木偶箱廻しを復活する会」が発端となって復元され、現在も伝統が受け継がれています。

しかし、阿波人形浄瑠璃芝居が国の重要無形文化財に指定されているのに対し、その源流の一つである「三番叟まわし」は現在も市町村や県の文化財指定さえ受けていません。こうした記録に残されなかったムラの文化遺産を守り、伝承活動を通じて人権意識を高め、人権尊重のまちづくりを目指すという報告者の想いに胸をうたれました。

午後と2日目は分科会に参加し、各会場に分かれて実践報告を聞きました。私は同和教育推進教員である高校の先生の報告を聞きましたが、受け持ちの生徒たちの抱える問題の深さ、重さに愕然としました。また、そういった生徒たちを支え、導く教員という仕事の重さ、責任の重大さに驚きました。

本研究大会の中で、「部落差別を自身の問題として捉えるためにどうするか。ひとつの考え方として、身体の障害と置き換えて考えてみる。自分自身いつ障害を抱えるかわからない。自分の子どもが障がい者として生まれるかも分からない。そのとき、差別する心とどう向き合つか鑑みればいい。」という話がありました。差別している気持ちはなくても、自分で気付かないうちに差別していることがあるかもしれないことを忘れてはならないと思いました。

伊方スポーツセンターでより

サーキットトレーニング

- 日 時 (10期) 1月8・15・22・29
(11期) 2月5・12・19・26
(12期) 3月5・12・19・26
19:00~20:20
- 場 所 伊方スポーツセンター3階トレーニング室
- 内 容 有酸素運動と筋力トレーニングを交互に行うことで、脂肪燃焼し、代謝を高めます。
また、バランス、体幹トレーニングなども行います。
- 料 金 2000円/1期(4回コース)
- 曜 日 毎週水曜日
- 定 員 先着15名

※大人の水泳教室※

・初心者を対象にクロールの基本練習を行います。

- 日 時 1月8日(水) 19:00~19:50
- 場 所 伊方スポーツセンター温水プール
- 定 員 先着10名
- 料 金 1回 500円

Jr スイミングスクール

- 曜 日：毎週水曜日(中級のみ)
毎週木曜日(初級・中級・上級)
- 受 講 料：3200円(4回/1期)
- 時 間：初・中級16:30~17:20
※16:30~の中級は水曜日のみ
中・上級17:30~18:20
- 定 員：各コース10名
- 対 象：5才~小学6年生
- 申込方法：事前にお電話か来館して申込み下さい。



お問い合わせは、伊方スポーツセンター
電話38-1100または38-0776へ

文芸

俳句

伊方俳句の会

除夜の鐘犬も抱かれて列に着
く 二宮壽賀子
逝きし友の愛しき冬帽子かな
門田千枝
雪降るや通りに迫る山ありて
渡辺日出子
生かされて九十路の髪をくし
けずる 梶谷千代子
南瓜蔓秋は名のみか花盛り
石井義夫
孫曾孫朝夕に揉むつるし柿
山寄美喜
過疎なれど住めば都や寒椿
上田幸香

陽は西に鴉も西に木守柿

井上良枝

姉偲ぶ微笑む遺影はな芒

宇都宮睦子

冬の陽を背に受け級友と長電

篠川勝子

石路と野地菊香る日暮れ道

宇都宮法子

夕焼に映える万灯蜜柑山

上田益男

湯上りの肌に染みたる柚子匂

木戸悦子

出石寺徒歩でてくてく鞋ばき

上田文男

神無月出雲の里より梨届く

足利敦子

福よこい十日えびすが誕生日

あつこ

瀬戸句会

冬ざれて波止場の船は動かさ
る 浅井ミドリ
榎紅葉岬の入江を赤く染め
佐々木忠雄
浦里の空屋にからむ蔦紅葉
佐々木サチ子

忙しなき平成の世やかたつむ
り 岡本登

脂乗る秋刀魚見事な焦げ具合

岡本あつ子

遠き人香りとどけと野菊摘む

吉見福子

年惜しむ清き流れの吉野川

福岡博

七十路の緩む涙腺露の秋

佐々木禮子

橙の酸っぱさもよし伊予育ち

佐々木煦

血圧計に教えられ冬ごもり

井上幸子

年の瀬や時計ばかりが時刻む

北英次

北斗の会

手折らうかなかなか折れぬ花
薄 伊藤植美
北風に飛び散る会話大声に
井上奈津子
立冬の三か月凜と西の空
佐々木順子
日の暮れの寒さ侘しさ寂しさ
藤村富士子

あみだ句会

在りし日の夫偲び見る柿のれ
ん 西上ミツヨ
冬支度一つ片づけ二つ出し
阿部ヨシ子
日記買ういつまでつづく覚書
松本光子
銀杏黄葉落ちて足もと照らし
けり 宮部タミエ
長き夜何度も目覚時計見る
中村千代香

亡き父へやさしい言葉菊の葬

玉里宏子

山里をぼかして煙る永雨かな

高月仁

秋入日快癒を待ちし草畑

木原敬明

冬夕焼つかのま雲をそめるな

池井為吉

児遊館より

「フルーツコースター」を作しましょう!

1月18日(土) 午後2時から、フェルトを使って自分だけのオリジナルコースター「フルーツコースター」を作しましょう!

参加される方は当日時間までに、3階児遊館にお越し下さい。

参加費：無料



映画上映会のご案内

1月11日(土) 3階児遊館にて映画上映会を行います。

場所 児遊館内 集会室

作品名 私のあしながおじさん

上映時間 1回目 10:00~11:30

2回目 15:00~16:30



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館
38-0211(内線856)